

白河市

議会だより

2024.2.7

12月定例会

VOL.73

ふくしまオレンジリボンたすきリレーin白河・表郷2023

「こどもの笑顔がいちばん」



10月29日、JRバス白棚線磐城金山停留所駐車場において、福島虐待問題研究会、NPO法人表郷ボランティアネットワークは、同ボランティアネットワーク主催の「福幸市」にあわせ、「こどもの笑顔がいちばん」、「こどもと家族の未来と幸せのために」を合言葉に、子どもを虐待から守り、子育て支援の意識づくりを広く社会に呼びかけることを目的に、子ども虐待防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに仕立て、駅伝方式でつないでいく「オレンジリボンたすきリレー」を実施しました。

〈令和5年12月定例会〉

目次

- ・令和6年甲辰今年の抱負…………… 2～3p
- ・12月定例会…………… 4～5p
- ・各常任委員会の審査…………… 6～7p
- ・14名が一般質問…………… 8～12p
- ・請願&陳情…………… 13p
- ・勤労感謝の日訪問、議員研修…………… 14p
- ・白河市町内会と市議会議員との意見交換会…………… 15p
- ・小学生が議会を傍聴、議員活動スナップショット… 16～17p
- ・3月定例会予定/被災地支援イベント/編集後記…………… 18p

いあいあし

議長 筒井孝充

市民の皆様には、日頃より市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、元日に発生した「能登半島地震」は甚大な被害を及ぼしました。私たちもあの「東日本大震災」において、その痛み、苦しみ、復興への険しい道のりを経験しており、多くの市民の方々が、被災者の方々に心を寄せておられると思います。

このような災害は、突如として私たちの生命、財産、生業を奪っていきます。近年、頻発する自然災害を受け、想定外の事態に備える事の重要性を改めて思い知らされました。

その他、急速な少子高齢化による介護人材不足、就業者口の減少による働き手不足の問題、また、国際情勢の不安定化に起因する、物価高騰の影響が、本市の社会・経済にも影響を及ぼしております。

内外ともに、様々な課題を抱えている現状に際し、私たち市議会は行政とともに、一般的な難局を乗り越えていくため、不断の研鑽と努力を重ねながら、全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、幸せで大いなる飛躍の年となりますように心よりお祈り申し上げます。

市民の声を
市政に活かす



永山 均

地域にとって
必要な議員を目指し
頑張ります



遠藤 公彦

龍の如く
白河が昇りゆくこ
とを祈念します



植村 美洋

皆さんの声は力
日々前進



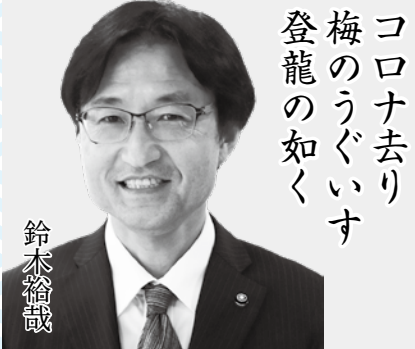
大木 絵理

スポーツの力で、
白河発展、
登龍の心



吉見 優一郎

コロナ去り
梅のうぐいす
登龍の如く



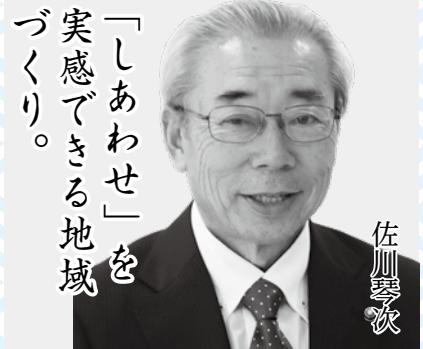
鈴木 裕哉

市民幸福度向上に
向け 更に尽力し
て参ります



高富 裕

「しあわせ」を
実感できる地域
づくり。



佐川 琴次

いこい
つどう
なごみ
しらかわ



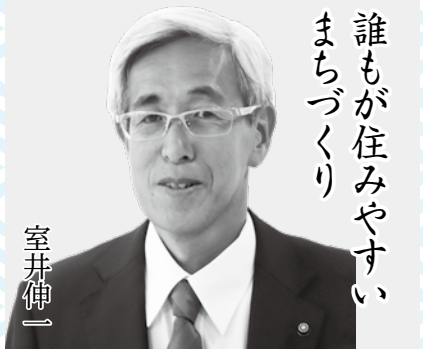
戸倉 宏一

住んでてよかった
まちづくり
頑張ります



根本 建一

誰もが住みやすい
まちづくり



室井 伸一

助け合い支えあう
白河をめざします



緑川 摂生

国を憂^{うれ}うる者は
其^その身^みを顧^{かえり}みず



北野唯道

持続可能な農業、
農村に取り組む



菅原修一

子どもの未来へ
最善にも最善を
尽くしたい



柴原隆美

ふることは
への贈りもの
子や孫



水野登正剛

令和6年^{きのえたつ} 甲辰

今年の抱負



スポーツ、文化発展
のために尽力したい。



大花 務

防災力
高めて安心安全に！



藤岡文実

光さす
白河の未来
辰の年



佐川京子

辰の年
昇龍のごとく
精進す



大竹功一

鳥の目で市全体を、
虫の目で
地域を見ます。



高橋光雄

安心と
くらしの守り
地域から



石名国光

コロナ明け
つどう市民の
幸願う



筒井孝亮

二元代表制の一翼、
市長と対話できる
議会に



深谷 弘



12月定例会

12月定例会は、12月7日から20日までの14日間の会期で開かれました。開会日には鈴木和夫市長より提案理由の説明がありました。一般質問では14人の議員がそれぞれ市の考えを質しました。

市長提出議案31件で、専決処分、条例案、単行議案、補正予算案、人事案件を審議し、いずれも原案のとおり承認、可決、同意されました。

このページでは、一部の提出議案の内容について、解説や説明をしたいと思います。審議内容については、6～7ページをご覧ください。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案…………… 31件
(うち人事案件7件)
- ◆陳情…………… 2件
- ◆議員選出議案…………… 1件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



● 議案第70号 専決処分の承認を求めることについて

ふるさと納税の寄附が予算額を上回り、寄附者への返礼等に係る予算措置が必要になったことから、令和5年度白河市一般会計補正予算(第4号)を専決処分したので、議会に報告し、承認を求めようとするものです。

・歳入 (ふるさと納税見込み額)

当初予算額1億7千万円 補正額4億2千万円 合計5億9千万円

・歳出 2億480万4千円 返礼品費、郵送料、各種手数料

● 議案第71号 白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部改正に伴い、世帯に出産する予定の被保険者又は出産した被保険者がある場合においては、当該世帯の世帯主に対して賦課する所得割額及び被保険者均等割額を免除するものです。

■免除期間 単胎妊娠 産前1か月・出産予定月・産後2か月

多胎妊娠 産前3か月・出産予定月・産後2か月

※出産予定月→既に出産されている方は出産月

■免除額 ・出産被保険者に係る所得割額×1/1.2×産前産後期間の月数

・出産被保険者に係る均等割額×1/1.2×産前産後期間の月数



● 議案第73号 白河市営住宅条例の一部を改正する条例

入居率の低い「外面市営住宅及び石久保市営住宅」について、住宅セーフティネットの役割を維持しつつ、入居機会の拡大を図るものです。

・入居資格のうち、同居親族案件の例外規定を新たに設ける。

外面と石久保市営住宅は18歳から59歳の単身入居を可能とする。

● 議案第74号 白河市障害児就学指導審議会条例の一部を改正する条例

現在は、児童及び生徒の就学について審議しているが、そのみならず機能を拡充し、早期からの教育相談・支援やその後の一貫した支援についても助言を行うという観点から、「白河市障害児就学指導審議会」から「白河市教育支援委員会」に名称を変更するため、条例の改正を行うものです。

- ・委員について、「医師の資格を有する者」、「学識経験を有する者」、「関係教育機関の職員」、「児童福祉施設等の職員」、「教育委員会が必要と認める者」に改めるものです。

● 議案第80号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第5号）の主な内容

■ 放課後児童クラブ運営費

定員数を上回る登録者が見込まれる白河第二小学校の児童クラブについて、来年度から60人程度受け入れを増やせるよう新たな施設整備を行うものです。

・ 事業内容

近隣の賃貸スペースを借り上げるための賃借料やトイレ改修、電話開通、備品購入費等を計上。

- ・ 財源 国1/3、県1/3、市1/3

一般会計補正額（議案第5号・第6号）合計 10億1,254万4千円

陳情と意見書

※詳細は13ページをご覧ください。

陳情

陳情第2号 すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情

〈陳情者〉福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行

本会議の採決 賛成18人・反対4人により賛成多数で採択

陳情第3号 健康保険証廃止の中止を求める陳情

〈陳情者〉福島県社会保障推進協議会 会長 佐藤 和久

賛成討論 深谷 弘議員 反対討論 室井伸一議員

本会議の採決 賛成7人・反対15人により反対多数で不採択

意見書

意見書案第6号 国民の命と健康を守るため、政府の責任ですべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書

〈提出者〉白河市市議会議員 戸倉 宏一

本会議の採決 賛成18人・反対4人により賛成多数で可決

人事案件

議案7件の人事案について、いずれも全会一致で同意

白河市教育委員会委員

任期
4年

瀧澤 学氏（大信町屋）【再任】

白河市公平委員会委員

任期
4年

菟川 彌生氏（久田野）【再任】

白河市固定資産評価審査委員会委員

任期
3年

菊地 正秋氏（東下野出島）【再任】

田代 行孝氏（みさか）【新任】

根本 庸一氏（表郷番沢）【再任】

須藤 政子氏（大信増見）【再任】

矢田部 朗氏（東千田）【新任】

総務 常任委員会

ふるさと納税寄付金の増額要因は

「議案第70号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度一般会計補正予算 第4号）ほか、議案7件が付託され、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

- 議案第70号 専決処分の承認を求めることについて（令和5年度一般会計補正予算 第4号）
新たなポータルサイトの追加、返礼品の充実

Q | ふるさと納税寄付金の増額要因について

A | 令和4年度に新たなポータルサイトを追加したことや、返礼品のオーディオ機器が好評を博していること、新たに返礼品提供事業者に加わりたいという地元事業者が増えていることなどが寄附金の増加につながっている。



- 議案第80号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第5号）

Q | 結婚新生活支援事業が当初の見込みよりどの程度増えているのか

A | 当初、12件を見込んでいたが、現時点で24件の申請数を見込んでいる。ホームページ等で周知に努めている。

市民産業 常任委員会

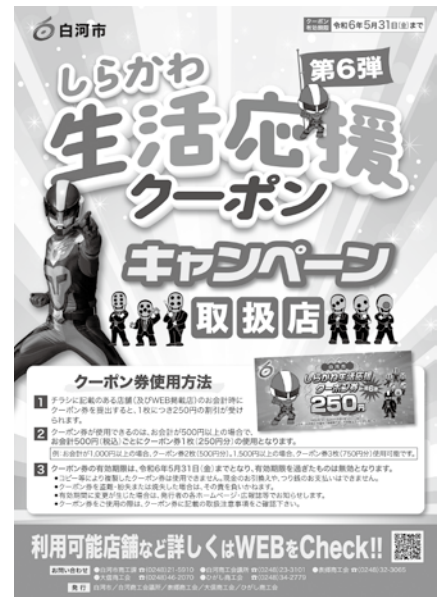
「第6弾生活支援クーポン券」予算を計上～物価高騰対策生活支援クーポン事業

「議案第72号 白河市生活交通バス条例の一部を改正する条例」のほか3件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

- 議案第89号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第6号）
「2,500円分のクーポン券」を全市民に配布

Q | 事業の概要と参加店舗について

A | 物価高騰に対する支援と、地域経済活性化を図るため、小売店や飲食店等で使用できる2,500円分のクーポン券を全市民に配布する。参加店舗は330店舗を見込んでいる。



住民税非課税世帯5,100世帯に7万円を給付

「議案第71号 白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」のほか10件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第89号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第6号）

物価高騰の負担感の大きい低所得世帯を支援

Q | 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業、給付金の増額補正について、給付金の支給対象に生活保護者世帯は含まれるか

A | この事業は、物価高騰の負担感の大きい低所得世帯を支援するため、令和5年度住民税非課税に7万円を給付する事業で対象世帯を5,100世帯としており、生活保護者世帯は、令和5年度住民税非課税世帯として、対象世帯に含まれる。

● 議案第71号 白河市国民健康保険条例の一部を改正する条例

Q | 条例の改正に新設された、国民健康保険の産前産後 保険税免除制度の詳細は

A | 世帯に出産する予定の被保険者又は出産した被保険者がいる場合、出産被保険者に係る対象期間の所得割額及び被保険者均等割額を免除するもので、今年11月の出産から対象になる。なお、出産被保険者が無職の場合は、被保険者均等割額のみが対象になる。

入居率の低い市営住宅について、単身入居を可とする

「議案第73号 白河市営住宅条例の一部を改正する条例」のほか議案4件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第73号 白河市営住宅条例の一部を改正する条例

入居率の低い「外面市営住宅及び石久保市営住宅」について、入居機会の拡大を図るため、単身入居を可とする。

Q | 入居率が低い市営住宅とする基準は。

A | 入居率50%以下の市営住宅を対象としている。

● 議案第89号 令和5年度一般会計補正予算（第6号）

Q | 県営事業・急傾斜地改善事業負担金の負担率は。

A | 福島県に対する白河市の負担率は事業費の10%。





◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。

◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。

◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

一般質問

12月定例会では14名の議員が一般質問を行いました。
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。
ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



12月定例会において延べ58名の方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

令和5年を振り返り、未来へ向けての展望は

持続的な未来へ向け「少子化対策会議」を立ち上げ取り組む



北野 唯道 議員



Q 令和5年を振り返り、この一年を総括していただくとともに、市民生活に明るい希望をもたらすような未来へ向けての市長の展望をご披露いただきたい。

A 今年はコロナが5類に移行し、社会経済活動の正常化に伴い、繁華街や観光地の人が回復するなどコロナ前の取り戻しつつあり、当たり前の日常の有難さを実感した年であった。本市においても人口減少や少子化は想定以上のスピードで進んでおり、残念ながら出生数は全国的な傾向と同様に減少し、昨年303人を下回る状況で推移。このため関係部署が連携し、効果的な対策を講じていくため、私たちが座長を務めた「少子化対策会議」を立ち上げ、結婚前の男女や子育て関連団体からの聞き取りによるニーズ把握に努めてまいります。



Q 令和4年度大信地域の市営住宅家賃滞納状況について

A 入居している滞納者数が15人、滞納額は11,267,890円、又退去している滞納者数が8人で滞納額は6,554,000円であり、合計17,821,890円であります。今後も収納に努めてまいります。

白河市立小野田小学校複式学級解消の支援は

市の予算で講師の配置等を検討



遠藤 公彦 議員



Q 公共交通を総合的に案内する窓口を開設できないか伺う。

A 先進地の取り組みも参考にしながら調査研究を行っていく。

Q こどもの安全・安心のために、本市の保育園・幼稚園・放課後児童クラブ・小学校・中学校に防犯カメラやオートロックシステム非常通報装置等の設置をできないか伺う。

A 保育園、幼稚園については、補助金や交付金の情報提供や今後の大規模改修や改築の計画時に検討する。小学校、中学校については立地や設備状況等を踏まえ調査研究をしていく。

Q 白河市立小野田小学校は、令和6年度の2学年・3学年において、複式学級になる見込みと聞いているが、その際、複式学級解消について、市はどのような支援をしているのか伺う。

A 学校とともに、県より配置される教員数を踏まえ市の予算で講師の配置等を検討し、複式学級の解消に努める。



小野田小学校

農水省の「みどりの食料システム戦略」の取り組みについて



戸倉 宏一 議員

持続可能な食料システムを目指す



Q 農水省の食料システム戦略を本市農業政策にどう取り組んでいくのか伺う。

A みどりの食料システム戦略は環境負荷低減に向けた世界的な流れを背景に策定され資材調達から加工流通までの持続的な循環を目指すもので、自給率が38%にすぎない我が国においては食料確保への不安は現実的な問題だ。食料を安定的かつ持続可能なシステムの実現を目指すことは容易なことではないが、ぜひとも実現しなければならない。



キャベツ畑(大信地内)

Q 本年の相次ぐ異常気象による影響について、また被害防止に向けた市の取り組みについて

A 本年4月に果樹への凍霜害が発生し被害面積約27ha、被害額7800万円となり県の農業等災害対策補助事業により病害虫駆除用薬剤や霜被害防止燃料材の購入を支援するため、9月補正予算において対応した。また、6月以降の記録的な暑さによる影響については野菜では作付け等がでなかつた異常果があった。今後一層の注意喚起を行い、農業災害の防止に努める。

AIを活用した新たな公共交通の考えは



室井 伸一 議員

地域公共交通計画において協議をしている



Q AIを活用した公共交通体制について

A 人口減少などの社会の構造的変化にも対応した公共交通のニーズを的確に捉えながら、利便性が高く、持続可能な公共交通の形成が求められている。これを實現するには、AIやIC

技術の活用は重要である。現在、策定作業を進めている「地域公共交通計画」において、新たな公共交通のあり方について導入目標や事業の協議を進めている。

Q バス運転手不足に対する取り組みについて

A 県バス協会では、今後5年間で340名程度の運転手不足を予測している。民間事業者の職員の採用については、雇用の裁量によるものがあるが、市においては、バス事業者など24の関係団体からなる「白河市地域公共交通活性化協議会」で運転手不足に関する意見交換や課題の共有をしている。また、他の先進事例も参考に、行政としてできることを模索しながら、人員不足の課題解決に取り組んでまいらる。



記念事業、廃校活用、観光施設整備について



植村 美洋 議員

30回の節目にふさわしい記念事業を実施



Q 来年度「中山義秀文学賞」は第30回の節目を迎えるが、市はこの事業にどのように取り組む考えか。

A 第10回、第20回に実施した事業も参考にしながら議員の提案も含め30回の節目にふさわしい記念事業を實施していく。

Q 廃校校舎は地域の活性化に重要と考えるが、利活用のこれまでの経緯について伺う。

A 昨年現在まで、行政利用や民間活用などについて検討してきた。地域活性化に寄与する新たな拠点として早期に利活用を目指している。

Q 国指定史跡などの文化的・観光的な揭示物・看板等の整備について伺う。

A 関の森公園内の「江戸期の関所」は検討していく。また、白川城跡の史跡に関する説明板の設置や更新、および駐車場などの環境整備については、文化庁や有識者との協議をおこないつながりながら管理計画を作成し、整備していく。道路上の枝葉や切り株などについては早急に改善していく。

Q 関の森公園内の「江戸期の関所」は検討していく。また、白川城跡の史跡に関する説明板の設置や更新、および駐車場などの環境整備については、文化庁や有識者との協議をおこないつながりながら管理計画を作成し、整備していく。道路上の枝葉や切り株などについては早急に改善していく。



中山義秀記念文学館

地域のシンボルとなる大信庁舎を建設できないか

大信地域振興計画で庁舎・公民館の複合化を検討している



永山 均 議員



保するため、支援のあり方について検討していく。

Q 国は、大規模法人を集中的に支援しているが、個人農家や新規就農希望者に対し、年齢に関係なく支援が必要と考えるが、市としての考えを伺う。

A 市は今後とも、適時に適切な支援をしていく。また、より多くの担い手を確保するため、支援のあり方について検討していく。

Q 東日本大震災で大信庁舎が被災し、農村環境改善センターを仮庁舎としてから12年が経過している。また、大信公民館の老朽化も進んでいる。

A 地域活性化協議会と意見を交わし、昨年策定した大信地域振興計画に、庁舎・公民館の複合化に加え、周辺エリアの一体的な有効利用の検討を盛り込んだ。



大信庁舎

Q ふるさと文化伝承館が、あまり活用されていない状況にある。周辺敷地の整備も含めて、有効活用できないか。

A 主に、小学生の学習の場として活用されている。さらに情報を発信して、多くの方に来館して頂くよう努めていく。

高齢者居場所づくりへの交通対策支援について

予約型乗合タクシーやバス・タクシー助成券の交付



佐川 琴次 議員



Q ギャラリーカフェ楽々（らら）に、来たくても来られない方がいる。交通手段の支援について伺う。

A 居場所づくり事業は、気軽に交流することができる



ギャラリーカフェ 楽々（らら）

「場」を提供している。交通手段として予約型タクシーの助成券を交付している。更に調査実施する。

Q 東ふれあいプールのオープンが1か月である。健康増進のため、温泉プールにして通年利用のための調査検討が必要か。

A 温水プールは、天候に影響されず、また通年利用が可能であり、健康の保持増進期待できる。一方でプールの屋内化や設備導入に伴い、ランニングコストが大きな課題。現在各町村と「公の施設相互利用協定」を締結し、同じ条件、同じ料金で利用できる。

Q 市職員が地域活動に積極的に参加することが非常に大切。職員への意識付けについて伺う。

A 地域の一員として地域活動に参加し、住民と信頼関係を深めることが重要であり、地域の現状や課題を肌で感じることができ、市民サービスの向上につながる。今後とも参加しやすい職場環境づくりに務める。

移住促進には学校教育の向上が必要 市独自策は

「れきしら」で郷土愛を 全校に司書を配置し読書を通じ読解力向上



高橋 光雄 議員



Q 本市への移住を促すためには、学校教育（知力・体力・徳育）を向上させる必要がある。市独自にやっていることは何か。

A 教育総合会議において本市の教育理念となる「教育大綱」を定め、目指すべき人づくりの基本方針を「『未来を切り拓く人間力』の育成」とした。その上で、「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用した郷土愛の醸成、小中学校に学校司書を配置し、読書に親しむ環境を整備して、読解力の向上に努めている。

Q 小中学校の学力、体力・運動能力とも全国上位に押し上げるためにどのような努力をしているのか。

A 学力向上推進会議において、具体的な授業改善策について市全体で共有している。特に英語では、福島大学の英語教育の専門家と筑波大附属小学校の英語担当教諭を講師として、研修を深めた。学力向上には、授業力の向上が重要である。体力・運動能力向上については、体力向上推進計画を策定し、全職員共通理解のもと、その実現に取り組んでいる。



白河市手話言語条例施行後の取り組みについて



鈴木 裕哉 議員

ろう者の安心できる環境づくりに努めていく



Q 白河市手話言語条例が施行されて今年で4年を迎えるが、これまでの取り組みについて伺う。

A 日常生活で手話が必要とするろう者へ手話通訳者を派遣する意思疎通支援事業を実施している。今年度は11月末までに51回の派遣を行った。また、手話通訳者養成のため、白河地区聴力障害者会や手話サークル草原の協力の下、市公式のユーチューブにて手話動画の配信や広報紙への掲載により情報発信を行っている。今後の取組みは市役所窓口にて手話通訳者の派遣がなくても対応できる遠隔手話サービスの実施を検討している。



Q 第20回の節目を迎えた「しらかわ郷里マラソン」の期待される効果と今後の課題について伺う。

A 東地域の特産品や白河の観光資源のPRと、交流を通しての関係人口の増加、東出身の藤田敦史監督のような人材育成も期待している。今後の課題として継続的な運営スタッフの確保と参加者を増やすための周知方法の検討が必要となる。

学校給食 物価高騰で「工夫も限界」



柴原 隆夫 議員

値上がりは「国の交付金」を活用し補助



Q 学校給食は全ての品目で物価が急騰し、給食を作る現場は悲鳴を上げている。汁物は水分でかさ増し、肉の代わりに豆腐を使用、またデザートの種類を減らすなど、栄養士がどんなに工夫をこらしても限界があると聞く。学校給食が「貧相になった」との声もある。本市の学校給食を調達している現場はどのようになっているのか。

A 物価高騰分については昨年の2学期より国の交付金を活用し補助している。

Q 16歳以上の自転車の交通違反者に青切符を交付し、反則金を科することを警察庁で検討されている。遠距離を自転車通学する中学生が多くなる。自身の交通事故だけでなく、加害者となる場合もあり、安全な自転車の通学指導をどのように行っているのか。

夕刻時の小学生の自転車事故で、母親に9500万円の賠償を命じた判例がある。

A ヘルメットの着用を努力義務とし、警察官による交通安全教室の実施や教職員と保護者との協力により登下校時等の交通安全指導を行っている。



自転車通学する中学生

市民幸福度向上をどのように推進していくのか



高島 裕 議員

「真の豊かさ」を実感できるまちづくりを進めていきたい



Q 白河市行動計画アジェンダ2027を掲げ、市民幸福度をどのように推進していくのか伺う。

A 市の現状を把握し、政策に反映させ、経済的、精神的、そして社会的に満たされた「真の豊かさ」を実感できるまちづくりを進めていきたい。

Q 公用EVシェアリング事業の概要について伺う。

A 土日、祝日などに公用電気自動車市民や観光客へレンタカーとして貸し出し、電気自動車の普及促進と地球温暖化防止に対する意識啓発を図る事業であり、予約から返却までスマートフォンで完結できるものである。

Q 「白河市自転車活用推進計画」の4つの目的を掲げた背景について伺う。

A 自転車活用に関する施策を総合的、計画的に推進するために、「市民意識の醸成」、「市民の健康増進」、「観光と地域振興」、「適切な利用による安全、安心の確保」を目標としたものである。



「さあ始めよう、未来を創るゼロカーボン」

武道館へのアクセス道路の整備を望む

令和8年度までに施設の改築改修の検討の中で総合的に考える



佐川 京子 議員



Q 本市のスポーツ行政の今後の展望について市長の想いを伺いたい。

A スポーツは、文学や音楽などの芸術と並ぶ世界共通の文化。今後も生涯にわたり健康はもとより心の豊かさを感じることもできる白河市としていくため、スポーツ振興に一層力を入れてまいります。

Q ふくしま駅伝のスタート地点の白河市、選手の発掘強化に取り組み、さらなる上位入賞を目指し、本市の底力を発揮し、市民みんなで一体感を感じられるような取り組みに期待したい。

A 選手や指導者の掘り起こしに努め、応援も強く呼びかけ、さらなる上位を目指し取り組む。

Q 武道館のさらなる活用を見据えてアクセス道路整備を望むが、考えを伺いたい。

A 都市計画道路としての整備は困難であるが、武道館の令和8年度までの改築や大規模改修を検討する中で総合的に考える。



加齢性難聴者の補聴器購入助成、交通弱者への移動手段支援 今後どうする？

制度充実のため調査研究 先進地を参考に全地域を網羅した交通システムをつくりたい



深谷 弘 議員



Q 今年4月から始まった加齢性難聴者への補聴器購入助成事業の実績(到達)はどうなっているか。

A 12月1日時点で、問い合わせ件数22件、申請件数9件、助成件数9件、助成額18万円となっている。

Q 市より対象者の少ない西郷村では年間数十件の実績がある。今後この事業をどのように発展させていくのか。

A 他市の状況や高齢者の声を聴きながら、制度充実のため調査研究していく。

Q 交通弱者への移動手段支援事業として、バス・タクシー移動支援事業(助成券)、「コミュニティバス(こみねっと・地域巡回バス)、予約型乗合タクシーがある。それぞれの事業が役割を果たしていることは評価できるが、今後どのように発展させていく考えなのか。

A 地域公共交通の担い手は、これまで民間事業者であったが、今では国・地方自治体の財政支援なしには継続できない状況にある。今後、先進地を参考に全地域を網羅した交通システムをつくってきたい。



新たにハーフマラソン大会を実施できないか

東の「しらかわ郷里マラソン大会」にハーフマラソンを組み入れることを検討する



大花 務 議員



Q 新たにハーフマラソン大会を実施できないか伺う。

A 本市では「しらかわ郷里マラソン大会」を開催している。今年は4年ぶりの開催となり市民はもとより北は青森県、南は広島県からの参加もあり大変親しまれた大会となっている。この大会にハーフマラソンを組み入れることも含め、今後検討してまいります。

Q 前回答弁で陸上競技場管理棟から入る利用者が15%、北側の狭くて急な8段の階段をのぼって入る利用者が85%である、との答弁だった。その後、管理棟の利用促進について検討した結果と、利用者のために管理棟から出入りできるような検討すべきであると思うが教育委員会の考えを伺う。

A 管理棟は現在管理人が常駐していないためセキュリティ上の利用から大会やイベント時以外は利用できない。利用促進に向けた検討状況は、利用者のニーズを把握するため利用した方を対象にアンケート調査を実施した。調査を分析し指定管理者である白河市スポーツ協会と管理棟のあり方について協議を重ねている。



陸上競技場管理棟

請願&陳情

日本国憲法で定める「請願権」は、国民が国や地方公共団体に対して、様々な要望を出せる権利です。「災害や事故などによる損害の救済」、「法律の制定や廃止」、「公務員の罷免」などについて要望を出すことができます。

請願と陳情は、要望等を議会に訴える手段という点では同じですが、形式が異なります。

請願は、憲法で保障された国民の基本的権利であり、その方式や処理の手続きなどが定められていますが、陳情は定められていません。また、請願は紹介議員が必要ですが、陳情は必要ありません。

12月議会までに白河市議会に提出された案件は、下記の陳情2件でした。12月15日の本会議後、担当委員会である「議会運営委員会」に付託され、陳情2案について審議が行われました。その議会運営委員会での審査経過と結果について報告します。

陳情第2号 「すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情」について

〈陳情者〉福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行

議会運営委員

審査と結果

- 「もう少し陳情の内容を見定めたい」と 継続審査とすべきとの意見
- 願意妥当であるとの意見



採決

採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。



本会議の採決

審議の結果、賛成多数により採択。関係機関に意見書を提出しました。

〈提出者〉白河市市議会議員 戸倉 宏一

意見書案第6号

「国民の命と健康を守るため、政府の責任ですべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書」

陳情第3号 「健康保険証廃止の中止を求める陳情」について

〈陳情者〉福島県社会保障推進協議会 会長 佐藤 和久

議会運営委員

審査と結果

- 「いまだ、政府の方針が決定していない状況で」と「【廃止の中止】を求めることに違和感がある」として不採択とすべきとの意見
- 「この一年間の健康保険証をめぐる政府の失態を考えた時、現時点では健康保険証廃止は中止すべきという陳情はもっともである」として採択すべきとの意見



採決

採決の結果、賛成少数で不採択とすべきと決しました。



本会議の採決

中止を求めることに賛成の立場で深谷 弘議員が、反対の立場で室井伸一議員が討論を行いました。採決の結果、賛成少数により、不採択となりました。

賛成討論要旨

深谷 弘議員

政府は令和5年6月に、現行の健康保険証を令和6年秋に廃止しマイナンバーカードに一本化するという方針のもと、廃止を進めようとしています。マイナ保険証の個人情報や自己負担割合の誤入力による間違い、また情報漏えい等、多くの国民が危惧する状況が噴出しました。そのため、現状においてこの秋に健康保険証を廃止してマイナ保険証に統一することは混乱を招く重大な問題であり、健康保険証廃止の中止を求めることは妥当であると考えます。

反対討論要旨

室井伸一議員

マイナ保険証は、今後ますます進むデジタル社会において、必要なものと考えているが、不安に思う国民もいることから、時間をかけて進めることが望ましい。このことから、健康保険証の廃止の中止をするのではなく、健康保険証の廃止を延期することが、妥当である。

本会議の採決

議案名等	議決結果	賛成	賛成・反対	永山均	遠藤公彦	植村美洋	大木絵理	吉見優一郎	鈴木裕哉	高島裕	佐川琴次	戸倉宏一	根本健一	室井伸一	緑川慎生	柴原隆夫	菅原修一	北野唯道	水野谷正則	佐川京子	藤田文夫	大花務	石名国光	高橋光雄	大竹功一	深谷弘	賛成討論	反対討論
陳情第2号 「すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情」	採択	18	4	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○		
陳情第3号 「健康保険証廃止の中止を求める陳情」	不採択	7	15	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	欠	●	○	●	●	●	○	○	深谷	室井	

勤労感謝の日訪問

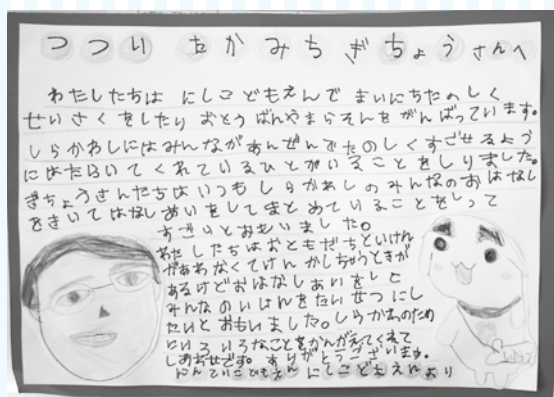
かわいい
お客様

去る11月14日に専念寺学園幼稚園児の代表6名の皆さんが先生と共に来庁し、日ごろ市民の幸せのために働いていることに感謝の言葉とお花を届けてくださいました。懇談の中で、大きくなったらの夢をいろいろ語ってくれました。

可愛い訪問にところがほっこりしました。
ありがとうございました。感謝。



子どもたちと佐川京子副議長



「しろくてぴかぴかのおこめができました」（同園では毎年、園児自らがお米を育て収穫し、食と命の教育を行っています）と頑張って書いたお手紙もいただきました。

令和5年度 福島県市議会議員研修会に参加

住民自治と最近の議会改革の取り組み

～「住民自治の根幹」としての議会を作動させる～

市議会議員19名が参加し、令和6年1月17日、会津若松市で開催された福島県市議会議長会主催の「福島県市議会議員研修会」に参加してきました。

今回の研修では、大正大学社会共生学部の江藤俊昭教授による「住民自治と最近の議会改革の取り組み～『住民自治の根幹』としての議会を作動させる～」という演題による講演があり全国各地の「議会改革の取り組み」が紹介され、大変参考になりました。

特に「地域経営にとって重要な権限は議会にある」との説明では、これまで首長と議会との二元制の中では理解していましたが、改めて議会の重要性を認識させられた思いがしました。また、他市の取り組みの中で「議会報告会」や市民との「意見交換会」の重要性の説明もあり、またある議会によっては「市民フリースピーチ」も導入するなど積極的に市民からの意見を聞こうという姿勢が感じられる事例報告もありました。事例報告の中で講師から「民主主義は、市民の希望と参加で始まります」という言葉が印象的でした。

我々、白河市議会としても他議会の事例を参考にし、なお一層「市民の福祉向上のために努力する」ということを改めて誓いました。



白河市町内会連合会役員と

市議会（三役及び各委員会正副委員長）との

令和5年度白河市町内会連合会と市議会議員との意見交換会は、12月21日、全員協議会室で次の議題で開催され、意見交換を行いました。

意見交換会

- (1) 町内会の加入状況について
- (2) 町内会役員のなり手不足について
- (3) 町内会の運営に係る課題等について

■白河市町内会連合会

会長 伊藤 満氏(昭和町町内会)
副会長 矢内 文一氏(二枚橋・日の出町町内会)
河野 敏夫氏(大町町内会)
石名 国光氏(南湖町町内会)



■市議会議員

議長 筒井 孝充
副議長 佐川 京子
議会運営委員会副委員長 大竹 功一
総務常任委員長 室井 伸一
副委員長 戸倉 宏一
市民産業常任委員長 高島 裕
副委員長 根本 建一
教育福祉常任委員長 吉見優一郎
建設水道常任委員長 鈴木 裕哉
副委員長 永山 均



伊藤会長



矢内副会長



河野副会長



石名副会長



町内会とはいえ地理、地形的、歴史的に様々であり、存在している問題も様々です。今後ますますのグローバル化に伴う生物起源の感染症被害、頻発する大規模自然災害、とりわけ地震、台風による水害、少子高齢化による、ますますの「個」の孤立化など、その地域に内在している社会問題や構造的な弱点が一気に顕在化に向かっています。

今後とも町内会、議会、市執行部とともに情報を共有し、市民の福祉向上に寄与していきたいと思っております。

自分の目で見て感じる経験を 小学生が議会を傍聴

小野田小学校6年生11名が、社会科「私たちの暮らしと政治」を学ぶため、議会傍聴に12月13日に訪れ、一般質問を行う議員と市長の真剣なやり取りを一生懸命メモをとりながら傍聴しました。

児童の皆さんから感想が届きましたので掲載させていただきます。

白河市議会では未来を担う児童生徒の皆さんの議会見学を心よりお待ちしております。

議会の様子を見て、とても勉強になりました。これから、学校の話合いなどで活かしていきたいです。

僕は、議会のことがいろいろ分かりました。ぼくたちの意見がどのように政治に反映されているのかが詳しく分かりました。

議会で話し合っているところを初めて見ました。真剣に取り組んでいた、すごいと思いました。

市議会の皆様へ
先日は、市議会を見学させていただき、ありがとうございました。市議会の見学を通して、議員のみなさんがわたしたち市民のことをよく考えているのがとても分かりました。本当にありがとうございました。
小野田小学校 6年



「白河市消防団出初式」（1月7日）に出席。消防団員の皆様の力強い雄姿に感銘。消防団員として活動している議員もおります。

議員活動
スナップショット



僕たちの将来のために一人一人が真剣に会議に取り組むところがかっこいいと思いました。

議会の方々の話の仕方や質問への答え方がとてもかっこいいと思いました。白河市民のために真剣に話をしており凄いと思いました。

今回の見学で、自然環境や教育について、私たちの意見がどのように政治に反映しているのかが詳しくわかりました。

市議会の皆様へ
先日は貴重な体験とさせていただきますありがとうございました。私が感動したのは市長の希望は僕のものという言葉です。市長の言葉と大切にしてこれからも頑張りたいと思います。
本日はありがとうございました。

小野田小学校

僕は、市議会の皆様が市民の未来がよりよくなるように、様々な事を考えてくださることがわかりました。

今回の議会を見学して市民みんなのために真剣に取り組むところがかっこいいと思いました。

私達のために話し合っている姿を見ることができてうれしかったです。とても貴重な経験になりました。



「二十歳の集い」（1月7日）に来賓として出席。676名の門出を祝いました。



3 月定例会の予定 正式には2月28日の開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

2月28日(水)	本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
3月5日(火)	本会議【一般質問1日目、委員会付託(請願・陳情)】
6日(水)	本会議【一般質問2日目】
7日(木)	本会議【一般質問3日目】
8日(金)	本会議【総括質疑、委員会付託(議案)】
11日(月)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
12日(火)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
13日(水)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
15日(金)	本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。

こちらのQRコードを読み込んでください。



東日本大震災の被災地支援イベント「福幸市」



NPO法人表郷ボランティアネットワークが平成25年から毎年開催している東日本大震災の被災地支援イベント「福幸市」は、地元の特産物をはじめ、他のイベントで交流のあった岩手県、宮城県の企業・団体が手掛けた特産物なども販売し、震災前の賑わいを取り戻そうと活動を続けてきました。「オレンジリボンたすきリレー」は、平成28年から福幸市のイベントのひとつとして、旧白柵鉄道時代から100周年を迎えるJRバス白柵線の一部をコースとして利用させて頂いています。児童虐待防止と子育て支援を呼びかける「オレンジリボン運動」を知ってもらうため「こどもの笑顔がいちばん」との合言葉が入っているオレンジのたすきを身に付け、支援を広く地域に呼びかけ、意識を高めようと、リレー方式で想いを繋いでいます。

(取材担当 根本委員)



編集後記

議会だよりをお読みいただきありがとうございます。令和元年の台風19号による混乱が続く中、新型コロナウイルスが猛威を振るい様々な分野に大きな影響を与えましたが、昨年5月に5類感染症に変更され、マスク姿も少なくなってきました。これからは、災害や事故のない平穏な日々が過ごせることを願うばかりです。まだまだ厳しい寒さが続きますが、日に日に近づく春を待ちわびながら、緑あふれる田んぼが見られることを楽しみにしています。

委員 根本建一

議会報編集委員会



佐川 琴次

根本 建一

永山 均

佐川京子委員長

戸倉宏一副委員長

大竹 功一